

平成27年度燕市観光協会事業報告及び収支決算報告について

1. 観光イベント開催事業	特別会計繰出金計 15,000,000円
---------------	----------------------

実事業費 19,317,295円

(1) 分水おいらん道中 (特別会計繰出金：12,000,000円 実事業費：15,760,881円)

第73回を数える、燕市最大の観光イベント「分水おいらん道中」当日は、風もあまり無く、むしろ蒸し暑さを感じるほどであったにもかかわらず、地蔵堂街中のイベントやさくら公園には、多くの市民や県内外はもとより、海外の方も見受けられ、約95,000人を数える入込がありました。

また、燕全市民の春イベントであることの機運醸成を目的にメインテーマを「つばめ桜まつり」とし、市内3ヶ所にライトアップを実施し、昨年同様、吉田地区や燕地区でも桜関連イベントを実施しました。各イベントにおいては市内の高校生23名がボランティアスタッフとして協力していただきました。

◎つばめ桜まつり 4月10日(金)～26日(日)の17日間

(吉田ふれあい広場☆さくらフェス) 4月11日(土)

(燕市交通公園&こどもの森☆さくらフェス) 4月12日(日)

(分水駅前&地蔵堂本町通り☆さくらフェス) 4月18日(土)

(第73回分水おいらん道中) 4月19日(日)

(2) 酒呑童子行列 (特別会計繰出金：3,000,000円 実事業費3,556,414円)

観光客も気軽に参加でき一緒に楽しめる参加型イベント「酒呑童子行列」当日、天候に恵まれ、前年同様、燕市PR大使のキラークン氏や関連自治体などからお越しいただき、イベントの盛り上げを図り、352名の行列参加者、および会場周辺には約8,000人の入込を数えました。更に、市内の中・高校生ボランティアスタッフ56名の協力もあり地域との一体感を醸成することができました。

また、全国の鬼関連自治体との交流も行い、全国鬼サミットや福知山の酒呑童子まつりに参加して本市のPRを実施しました。

◎酒呑童子行列 9月27日(日)

酒呑童子まつり(京都府福知山市) 10月25日(日)

全国鬼サミット(鹿児島県曾於市) 10月31日(土)

2. 受託事業	9,136,267円
---------	------------

(1) つばめ観光交流連携事業 (事業費：1,551,917円)

燕市と連携して、各種イベント等へ積極的に参加をし、観光PRキャラクター「きららん」

を活用した燕市の魅力やイベント情報を直接伝えることで知名度アップを図り、燕市への誘客活動を強化しました。

- ・アグリフードEXPO東京（東京ビッグサイト） 8月18日（火）～19日（水）
- ・ワインフェスティバル in 南陽（山形県南陽市） 8月28日（金）
- ・黒崎PAイベント（新潟市黒崎PA） 9月12日（土）
- ・南陽の菊まつり（山形県南陽市） 10月16日（金）
- ・大江山酒呑童子まつり（京都府福知山市） 10月25日（日）
- ・ヤクルトファン感謝デー（神宮球場） 11月23日（月祝）
- ・ゆるキャラグランプリ in 浜松（静岡県浜松市） 11月23日（月祝）

（2）つばめ「おもてなし力」アップ事業 （事業費：7,584,350円）

国内や海外からの企業視察や産業観光等でお越しいただく来訪者に、更なる魅力の情報を伝えるために、語学力を備えた「観光ナビゲーター」を育成して、来訪者の満足度向上に向けた取組みを行いました。

更に、市内の観光ボランティアガイド団体への活動支援を強化することで、ホスピタリティの向上とガイドの育成を支援しました。

- ・観光ナビゲーターによるガイド 18回 計236名
（内：海外からの視察対応 7回 91名）
- ・国上山ボランティアガイド はちの子会 4～11月 計2,758名

3. 観光プロモーション事業 **2,524,436円**

（1）観光プロモーション事業 （事業費：2,524,436円）

燕市の魅力を情報発信していくためのツールであるパンフレット等を増刷して県内の公共施設等に設置し、知名度向上と誘客促進を図りました。また、あらたな情報として、燕市内で体験できる情報を一元化した、ぐるり体験プログラムのパンフレットを8,000部、新たに海外からの誘客を意識して、研磨を紹介する英語版チラシを10,000部作成し市内及び県内の公共施設に設置しました。

4. 産業体験等開催事業 **372,981円**

燕市が誇る「ものづくり」の伝統と匠の技や「国上山の自然」に触れ、自然の大切さと魅力を広く楽しく理解してもらうことを目的に各種体験講座を開催しました。

（1）彫金体験工房開催 （事業費：75,972円）

県央マイスターによる指導により、木ノ葉のキーホルダー等制作体験を開催しました。

- ・年間9回開催 13名の参加者

(2) 鋤起銅器体験工房開催 (事業費：137,887円)

県央マイスターによる指導により、小皿の制作体験を開催しました。

- ・年間9回開催 23名の参加者

(3) 拓本体験教室開催 (事業費：45,000円)

分水拓本研究会の指導により、名僧良寛さまの碑を拓本する体験を開催しました。

- ・年間9回開催 358名の参加者

(4) 国上山森林がトツア-開催 (事業費：114,122円)

森林インストラクターをガイドに、国上山の自然と役割を楽しく学び歩く体験ツアーを実施しました。

- ・年間6回開催 71名の参加者

5. 他団体等連携事業 (観光プロモーション事業にて実施) 0円 (150,000円)

(1) 八王寺白藤保存育成事業 (事業費：0円 観プロにて100,000円拠出)

新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王子大白藤保勝会を支援しました。

(2) 萬灯紹介広告事業 (事業費：0円 観プロにて50,000円拠出)

木場小路萬灯組と横町萬灯保存会等と連携を図り、歴史ある伝統行事の広報ポスター制作に関わる支援を行いました。

6. イベント出展事業 242,216円

(1) イベント出展 (事業費：242,216円)

新潟県観光協会を始め周辺市町村等と連携を取りながら、県内外で開催されたイベントに参加、ブース出展をして、燕市の観光資源や特産品を積極的にPRすることで、知名度向上と誘客に努めました。

- ・新潟うまさぎっしり博 (新潟市朱鷺メッセ) 4月11日(土)～12日(日)
- ・全国鬼サミット in そお (鹿児島県曾於市) 10月31日(土)～11月1日(日)

7. 観光資源活用事業 69,768円

(1) 国上山山開き (事業費：69,768円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡が残る国上山は、県指定の天然記念物で自然観光の拠点であり、国上山登

山シーズンの幕開けに登山者の無事を願い安全祈願祭を行いました。

また、当日訪れた登山者を癒す取り組みで、ビジターセンターにてお茶会も開催しました。

(2) 燕フォトライブラリー ※燕・弥彦定住自立圏事業にて実施 (事業費：0円)

誰でも気軽にスマートフォンなどから旬の写真を投稿できるシステムの導入を弥彦村と連携して、四季を通じた写真データを収集することにより、パンフレットやHP等で活用すると共に、旅行会社やメディア会社に使用を許可して画像による魅力発信を行いました。

燕市観光協会運営費

13,990,054円

(1) 運営体制 (事業費：13,990,054円)

観光協会を統合してから2年が経過して、更なる燕市の「交流人口」「応援人口」拡大に向け、観光事業を積極的に展開するため、任意団体からの脱却を行い、平成27年7月1日一般社団法人として登記移行するに至りました。

また、8月に産業史料館内にあった事務所も、旧燕市社会福祉協議会跡に移転したことから、必要書庫棚等の購入費や賃貸料などの負担や公用車のリース料の負担がかさみました。